

JICA 中国／相互理解・交流促進事業

多様性、異文化を身近に感じる機会 ～JICA 研修員と大学生との意見交換～

今年度、コロナ禍を経て、自由に海外に行く機会が減った大学生たちに、JICA 中国で受入れをしている開発途上国の研修員が大学のゼミなど少人数のグループを訪問し、お互いに大学で学んでいる内容や分野について意見交換するほか、研修員の出身国の文化や社会について紹介を行い、お互いに語り合う事業を開始しました。研修員のお話を聞いて、自分たちと大学生生活の違いを感じたり、遠いと考えていた海外を身近に感じることができるよう。また、学生たちの話を聞いた研修員が新しい視点を持つきっかけになるようにと考えて実施しています。

国際交流の現場として、ぜひ、取材をご検討ください。

※研修員とは：JICA では、開発途上国の国づくりの中核となる人材を育成する目的で、毎年およそ 150 カ国から 1 万人を超える技術者や行政官などを、各国政府からの要請に基づき研修員として受け入れています。

■日時：2023年11月8日（水）10：20～14：10

■場所：広島文教大学

（広島市安佐北区可部東 1-2-1 電話 082-814-3191）

■訪問研修員：JICA 研修員 5名（予定）

カンボジア、インド、シリア、エチオピア、ブラジルの5カ国

※長期研修員として JICA が受け入れ、広島大学の大学院で学んでいる方たちです。

■参加大学生：3年生8名（ゼミの学生）

■主な実施内容（予定）

10：20	広島文教大学到着
10：50～12：00	自己紹介、意見交換会
12：00～13：00	昼食
13：00～14：00	英語ゲーム
14：10	広島文教大学出発

■実施担当者・取材連絡先

本イベントの運営は、（公財）ひろしま国際センター研修部が行います。

学校から取材許可を受ける必要があるため、取材予定の方は

事前にひろしま国際センターまでお知らせください。

お申込・お問い合わせは、担当者：研修課 上田まで

電話 082-421-5900

メール hicc40@hiroshima-ic.or.jp



大学訪問の様子（2023年10月）

地域から世界へ、世界から地域へ
元気をつなぐ JICA 中国



JICA 中国ウェブサイト